

防除効果の高い薬剤を選定して 主要害虫を抑えて防除経費を2割削減 (農林センター)

主 旨

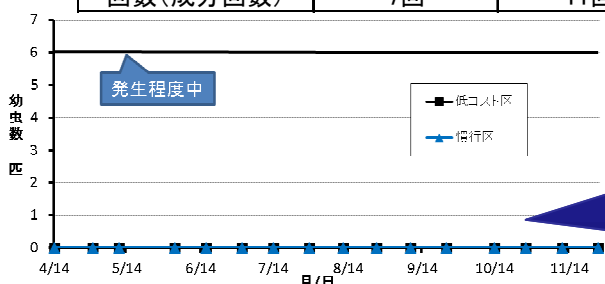
京都府内で防除効果の高い農薬を選定し、農薬の散布量を減らすことで経費を削減した防除体系を策定

効果の高い薬剤を選定しました。

策定した防除体系の概要 (10aあたり)

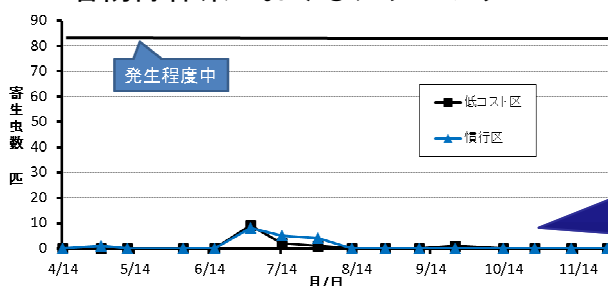
	低コスト体系	慣行体系
防除経費(円)	28,842	40,220
対慣行比(%)	71.7	-
回数(成分回数)	7回	11回

防除経費を2割削減しました。



慣行の農薬散布区と選定農薬を散布した低コスト区について、ともにチャノコカクモンハマキ、チャノホソガはほとんど発生を認めませんでした。

各防除体系におけるチャノコカクモンハマキ密度の推移(2014年)m²調査



慣行の農薬散布区と選定農薬を散布した低コスト区について、ともにチャノキイロアザミウマは問題にならない密度に抑えることができました。

各防除体系におけるチャノキイロアザミウマ密度の推移(2014年)50芽調査

※発生程度中未満:
防除が必要ない密度

具体的な研究成果

- ・42 薬剤の中から防除効果が高い薬剤を選定。チャノキイロアザミウマ5剤(カーバメート系など)、チャノミドリヒメヨコバイ13剤(有機リン系など)、チャノコカクモンハマキ9剤(IGRなど)、チャノホソガ7剤(ジアミド系など)、クワシロカイガラムシ3剤(有機リン系など)
- ・防除経費2割削減を達成
- ・チャノミドリヒメヨコバイとクワシロカイガラムシの発生がみられたが、概ね生育に影響のない密度に抑制

研究成果の活用場面、波及効果等

- ・京都府内での薬剤抵抗性の発達を踏まえた効果の高い薬剤を用いることで、防除経費を削減して安定的な茶生産ができます。
- ・各地域の防除こよみの基礎資料として活用できます。